

第177回スポーツサイエンス研究会

SGU (文部科学省スーパーグローバル大学創成支援
早稲田大学スポーツ科学学術院 健康スポーツ科学モデル拠点) 協賛

日時 2017年11月29日(水) 16:30より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館 205教室

演題

スポーツと栄養

東田 一彦 先生

(滋賀県立大学 人間文化学部 生活栄養学科)

スポーツ現場に栄養士が出向いて食事指導を行う、という現在では良く見られる光景は、日本では25年ほど前から行われています。一方、運動生理・生化学分野での栄養摂取に着目した基礎研究にはもっと長い歴史があります。私は、これまで運動トレーニングや摂取した栄養素がどのように骨格筋や全身のエネルギー代謝に影響を及ぼすのかを研究してきました。本講義では、スポーツ栄養学の歴史に触れるとともに、近年の基礎的なスポーツ栄養学の研究で明らかとなってきた事実について紹介します。

略歴

早稲田大学スポーツ科学学術院修了(2010)

Washington University in St.Louis School of Medicine 研究員(2009-2012)

立命館大学スポーツ健康科学部 研究員(2012-2013)

早稲田大学スポーツ科学学術院 助手・助教(2013-2015)

滋賀県立大学 准教授(2015～)



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・枝伸彦
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: nob-eda@aoni.waseda.jp